



はちもうだよ

8月28日発行
第5号
担当 鈴木

楽しみにしていた夏休みも、あっという間に終わりました。いつもより少し短い夏休みでしたが、児童生徒が全員揃って元気に2学期始業式を迎えることができました。久しぶりの再会とあって友達に伝えたいことが沢山あったようで元気な声が学校にあふれていました。まだまだ暑い日が続くと思いますので、感染症対策とともに熱中症対策にも気を付けながら充実した2学期になるように教育活動を進めていきたいと思います。学校生活やお子様のことで気になることがありましたら、学級担任、学部主任または教頭に相談いただきたいと思います。2学期もよろしくお願いいたします。



体育発表会



7月22日、体育の発表会がありました。たくさんの先生方が応援にきていたので、みんな緊張した様子でしたが、1学期頑張った運動を一生懸命発表していました。



背筋を鍛えてるよ！



緊張したけど、頑張って眺んだよ。



腕がぶるぶるする・・・



高く飛べるようになりました。正確に、キャッチ！！



腕の力で体を支えて、ジャンプ。

おめでとう！天摩由貴選手

昨年、平成17年度卒業生の天摩由貴選手が2020東京パラリンピック女子ゴールボールの代表に選ばれたことをお伝えしていましたが、大会が延期となり2021パラリンピックに出場できるのかははっきりとしない状況が続いていました。そのような中、夏休みに入る直前に2021東京パラリンピック日本代表に天摩選手が選出されたという嬉しいニュースが届きました。ゴールボールは、視覚障害のある選手が3人1チームとなり、ゴールを狙って鈴の入ったボールを交互に転がし得点を競う競技です。天摩選手は新型コロナウイルスの影響で思うように練習できない状況が続く中でも、自宅で練習に励んでいたそうです。八戸盲学校は天摩選手の活躍を応援したいと思います。



天摩由貴選手

昨年11月本校で講演を行った時の様子から



「夏を制するものは受検を制す」



中学部3年のAさんは、受検生です。進学希望先への合格を目指して日々の学習を頑張っております。「夏を制するものは受検を制す」という言葉をよく耳にするとと思います。そんな受検生のAさんは、どのような夏休みを過ごしたのかをご紹介します。まず、7月下旬に中学3年生を対象に行われている県立高等学校の体験入学及び学校説明会に参加しました。他校の中学3年生や保護者が大勢いる中、緊張した様子を見せることなく、興味がある2つの高等学校の授業体験や先輩講話で、入学をイメージしながら活動に取り組んでいました。また、8月上旬には暑い中、学習会にも参加し、受検を意識して頑張る様子が見られました。いよいよ2学期には受検校決定に向けて動き出します。県立高等学校入学者選抜の日は3月10日（水）です。

寄宿舎から

8月4日（火）北東北3県盲ネットワーク寄宿舎指導員研修会（岩手県立盛岡視覚支援学校会場）へ盲学校寄宿舎指導員4名で参加してきました。研修会では「桜井記念視覚障がい者のための手でみる博物館」体験見学、講演会、4校（盛岡視覚・秋田視覚・青森盲・八戸盲）情報交換会が行われました。今後の寄宿舎での生活支援・指導の在り方、手立てなどについて、気付きとなるものがたくさんあった研修会となりました。今回、その中の1つ『桜井記念視覚障がい者のための手でみる博物館見学』について紹介します。この『桜井記念視覚障がい者のための手でみる博物館』では、視覚障害者だけではなく晴眼者にも触察の可能性を感じてもらえるように、様々な模型や標本を展示しています。その中で特に目を引くのが、小熊、熊の手、ライオン、白鳥、サメ、鯨の骨、狐、狸、蛇等の標本です。それらの標本は、直接、手で触ることができ、生物の形状や動物の毛並みな等を直に知ることができます。他県盲学校からも修学旅行で見学に来るほどの人気だそうです。事前予約で見学可能とのことですので、機会がありましたら、是非、見学されてみてはいかがでしょうか。「触ることとは楽しい!」と感じることができると思います。

